

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他の有価証券……市場性のあるものは時価法を採用している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

定額法による減価償却を実施している。

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金……期末退職給付の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定 期 預 金	1,000,000	0	0	1,000,000
小 計	1,000,000	0	0	1,000,000
特定資産				
退 職 給 付 引 当 預 金	36,331,480	0	5,536,660	30,794,820
展 覧 会 事 業 引 当 預 金	60,000,000	0	0	60,000,000
修 繕 積 立 預 金	30,000,000	0	0	30,000,000
減 価 償 却 引 当 預 金	135,472,008	8,707,107	0	144,179,115
小 計	261,803,488	8,707,107	5,536,660	264,973,935
合 計	262,803,488	8,707,107	5,536,660	265,973,935

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	1,000,000	(0)	(1,000,000)	—
小 計	1,000,000	(0)	(1,000,000)	—
特定資産				
退職給付引当預金	30,794,820	—	(0)	(30,794,820)
展覧会事業引当預金	60,000,000	(0)	(60,000,000)	—
修繕積立預金	30,000,000	(0)	(30,000,000)	—
減価償却引当預金	144,179,115	(0)	(144,179,115)	—
小 計	264,973,935	(0)	(234,179,115)	(30,794,820)
合 計	265,973,935	(0)	(235,179,115)	(30,794,820)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	453,316,421	183,540,597	269,775,824
車 両 運 搬 具	1,822,360	1,822,359	1
什 器 備 品	32,371,872	31,350,756	1,021,116
ソ フ ト ウ ェ ア	626,000	626,000	0
合 計	488,136,653	217,339,712	270,796,941